

工 | 大 | 広 | 報

2019年2月28日発行(年4回発行)

No.292

Winter 2019

2019年2月28日発行

(年4回発行)



卒業研修に取り組む学生
研究に取り組む大学院生

仙台赤十字病院と協定を締結した日に行われた地域連携シンポジウム「これからの暮らしと地域社会」には多くの方に参加いただきました

卒業研修に取り組む学生

工学部

情報通信工学科



アプリケーションの動作確認中

J-ALERT情報表示アプリの研究・開発

むらかみ なおき
村上 直冨

情報通信工学科 4年



日本は、地震や台風による風水害などの、自然災害が多く発生する国です。そこで、自然災害による被害を防ぐ目的で、情報通信技術を利用したさまざまな災害対策システムが作られています。その災害対策システムの中でも、近年J-ALERTが注目されています。東北工業大学は、大学で初めてJ-ALERTを導入しました。私は、J-ALERTを緊急情報の住民への周知システムとしてだけでなく、さらに多くの防災対策や、災害発生時に現場で活用できないかと考えました。多くの人が使用できるようにすることを目的とし、スマートフォンを始め、多様な機器に対応したJ-ALERT情報表示アプリケーションの研究・開発を行っています。

工学部

環境エネルギー学科



ホルムアルデヒド雰囲気への曝露実験

チップで簡単！ 誰でも気軽にがんチェック

おかざわ ひろき
岡澤 宏樹

環境エネルギー学科 4年



「日本人の2人に1人ががんになる」と言われている中、未だに日本人のがん検診受診率は50%に達していません。さらに近年、呼吸や尿に含まれる成分と疾病の関係が徐々に明らかになっています。私の所属研究室では、がん患者の呼気や尿に多く含まれるホルムアルデヒドと反応するチップを作製し、ガスや溶液を用いた性能評価の実験を行なっています。反応が起こる環境条件によって、チップが示す結果が変わってくるため、さまざまな条件下で実験を行なっています。このチップを利用した呼気分析法が確立されれば、息を吐くだけでがんの可能性の有無を調べることが可能になると考えられます。少しでもがん検診受診率が増加し、予防医学に貢献できたらと思います。日々研究を行っています。

ライフデザイン学部

経営コミュニケーション学科



研修発表会におけるポスターの前で

英語に対する「ビリーフ」に関する研究

いずみだて りゅうせい
泉館 竜星

経営コミュニケーション学科 4年

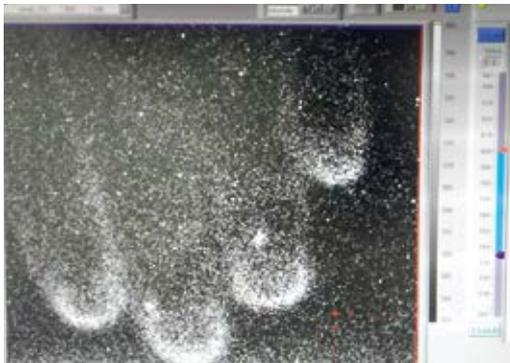


私は大学生の英語に対するビリーフについて卒業論文を執筆しました。「ビリーフ」とは個人的な考え方や信念のことです。英語が得意な人と苦手な人のビリーフにはどのような違いがあるかを探ることを目的としました。調査票は1980年代に作られたBALLという調査票の項目が掲載された英語の論文を読み、アンケート項目を和訳し、現代の英語教育、学習の実情を踏まえた項目を追加して作成しました。学生の中で英語が得意な学生とそうでない学生、さらに英語が得意な学生と英語教員のビリーフの間には大きな違いがあることがわかり、それが現在の英語力や学習の成果に関係している可能性が示唆されました。研究結果が学生の英語学習に役立てば嬉しく思います。

研究に取り組む大学院生

大学院 工学研究科

電子工学専攻



ヒト皮膚からのバイオフィトン画像

極微弱発光による酸化ストレス評価法に関する研究

いわさ とらい
岩佐 琥偉

電子工学専攻 博士(前期)課程 2年



すべての生物は、バイオフィトンと呼ばれる極めて微弱な光を自発的に放出しています。バイオフィトンの発光強度は 10^{-16} W/cm²以下のとても弱い発光ですが、代謝過程で産生される活性酸素種に起因しており、生体の酸化ストレス状態との関与も示唆されることから、酸化ストレス起因のさまざまな疾患の指標になると考えられています。私は、新しく開発したバイオフィトンが測定できる極微弱発光用計測システムを用いて、ヒト皮膚を対象としたバイオフィトン発光の研究を行っています。バイオフィトン発光はその全貌が未解明な点が多い生体現象ですが、化粧品の開発など皮膚科学分野への応用を目指して、日々研究に取り組んでいます。

大学院 工学研究科

建築学専攻



調査対象住宅食堂でのヒアリング

共同居住型災害公営住宅での生活に関する研究

いとう るつ
伊藤 瑠都

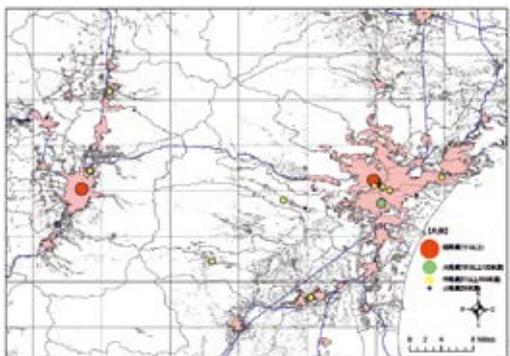
建築学専攻 博士(前期)課程 2年



福島県相馬市の共同居住型災害公営住宅は、東日本大震災の高齢者向け災害公営住宅として建設されました。この住宅は居住者同士の助け合いを目指して作られており、グループホーム型です。調査の方法は主に対象者への聞き取り調査で、2016年から3年間行なっています。震災から5年以上経った生活安定期の居住者の暮らしや、外部からの支援として行政支援、そして生活のサポートをするボランティアの活動内容の変化を調査しました。これらの変化とその要因から今後の高齢者住まいや、そのあり方、災害公営住宅の空間の特徴を明らかにすることを目的として研究を行い、修士論文作成に励んでいます。

大学院 ライフデザイン学研究科

デザイン工学専攻



GIGを用いた仙台市における手作り市場の出店規模別分布図

東北地方における手づくり市場の研究

きむら いっき
木村 一気

デザイン工学専攻 博士(前期)課程 2年



近年、日本各地でクラフトマーケット、マルシェというさまざまな名称で手づくり市場が開催され、無視できない程の経済規模までに成長していることが示唆されています。手づくり市場は創作活動の発表・販売の場、新たなオープンスペースの活用方法とさまざまな器としての役割を持つだけでなく、IT革命社会の発展による「人間関係の希薄さ」により衰退しつつある地域コミュニティの新たなコミュニティの場としての機能も果たしていることが期待されます。そこで本研究は手づくり市場の空間的特徴とそれらを構成する主体に着目し、実態を明らかにすると共に、自らが運営者および出店者として参画することで実践的な研究を行い修士論文の作成に励んでいます。

就職活動の解禁にあたって

ちば のりゆき
千葉 則行 就職委員長／都市マネジメント学科 教授



3月1日から2020年卒の就職活動が解禁となりました。自分に最高に合っている企業と出会うためには、常に自己分析を通じてこれまでの自分の経験の中でうれしかったこと、楽しかったことなどを徹底的に考えてみることも、また実際の就職活動にあたっては常に具体的な目標を設定して行動することが大事です。今後、納得の行く就職活動ができるかどうかは当事者意識を強く持った主体的な行動が取れるかどうかにかかっています。健闘を祈ります。

工学部

電気電子工学科



仕事は「やりたい」より「できる」が大切

みやした てつや
宮下 哲哉
電気電子工学科 教授

今年も3年生の就活が始まりました。就職先について学生が悩む時期です。予備校講師でテレビでも有名な林修氏は、仕事の選択は「やりたい・やりたくない」の軸よりも「できる・できない」の軸で捉えてできることを選ぶ方が大切と話されています。電気電子の分野の人は社会で多く必要とされ、この分野を学んだ学生には「できる」ことが多い恵まれた状況です。多くの求人からできる分野を、さらにその中から優良企業を選びましょう。

工学部

情報通信工学科



準備を早めにしっかりと

まつだ まさひろ
松田 勝敬
情報通信工学科 准教授

今年度も現4年生の就職活動は昨年度に引き続き、昨年11月にはほぼ終結となりました。現3年生は、すでに就職活動がはじまっています。3月の本学主催の合同企業説明会の時には、個別に訪問する企業を決めておかないといけません。自分が就職活動をするには何を目的にするのか、何を基準に企業を決めるのかを早めに確立する必要があります。業界や企業についてよく調べて、準備を早めにしっかりとしておくようにしてください。

工学部

建築学科



企業へのアプローチも積極的に

ほり のりお
堀 則男
建築学科 教授

この2、3年、企業でのインターンシップ開催が急増してきました。本来の意味の「就業体験」ではなく、単なる「説明会」「見学会」になってしまっているケースも多いとの懸念もありますが、名称はともかく、その企業を知り、社員から直接話を聞ける重要な機会です。また、本番の就職活動に向けたコミュニケーションの訓練にもなると思います。ぜひ、積極的に有意義に利用して、悔いのない就職活動を進めてください。

工学部

都市マネジメント学科



多様な職種で生き生きと!

すとう あつし
須藤 敦史
都市マネジメント学科 教授

都市基盤や生活基盤を整備するため、道路や橋の建設、ライフラインの工事などまちづくりを支える仕事が目指せます。公共事業に関連する技術系「公務員」、建設業、鉄道・高速道路・電力・上下水道・通信などのインフラ関連企業、建設関連の技術サービス業（建設コンサルタント）への就職実績があります。さらに、人材不足という社会背景の中、特に建設系では技術者の不足が続いており、今後の求人状況も売り手市場と予想されています。

工学部

環境エネルギー学科



環境エネルギー産業の分野への就職は、企業研究と行動力が重要です

さの てつや
佐野 哲也
環境エネルギー学科 准教授

今年の4年生の就職状況は、例年通りほぼ終了しております。以前から求人が多かった化学系プラント関連企業へ就職する学生が増えてきた印象をもっています。環境エネルギー産業は、ここ20年で発展してきた分野で様々な企業が進出しておりますが、各企業がどのような事業に取り組んでいるかは研究しないとわかりにくい部分もあります。これから始まる説明会に積極的に参加し、良い出会いを見つけられるよう頑張ってください。

ライオンデザイン学部

クリエイティブデザイン学科



学んだことを活かす視点を

もろずみ きよたか
両角 清隆
クリエイティブデザイン学科 教授

今年も4年生の就職状況は比較的順調に推移しています。個人の努力もありますが、昨年に引き続き、企業の採用意欲が高いためとも言えると思います。

一方、未内定の学生もいます。自分の力を活かして就職するためには、自分の学んだことが会社の中でどのように活かせるのかを、学生本人が理解し相手に伝えなければなりません。ぜひ、学んだ内容を振り返り企業にアピールできるものにまとめてあげて、積極的にアプローチしてください。



**先輩に倣ってよい
—今の自分と、
周りのアドバイスを
信じて
歩みを進めよう**

このひろし
今野 弘 学長

就職するということは、人生の舞台を設定することです。その舞台はこれまで培った能力を活かす場であるとともに、これからの永い人生を歩む場でもあるということです。舞台のポイントは、やりがいを感じることであり、生きがいにもつながります。

ただ、やりがいというのは、選んだ舞台における不断的努力によって得られるものであり、前もってはわかりません。したがって、今は自分の価値観を信じ、大学と周りのアドバイスや推薦を信じて舞台選びを始めることが肝要です。多くの先輩たちに倣って自信を持って進んでください。

ライフデザイン学部

安全安心生活デザイン学科



伸び代に、期待します

なかじま さとし
中島 敏
安全安心生活デザイン学科 教授

今期の就職も、昨年同様、売り手市場の傾向が見られます。しかしながら、4年生の中には、就職が決まり安心し、学業がおろそかになる傾向の学生も見受けられます。解からないでもありませんが、しかし学業が基本である学生にとって、就職の内定は大切なことではあります。やはり学業に専念し、基本を学ぶことがとても大切に感じます。学びは、社会に出てからの、伸び代になります。また、学業と就職の両立が大きく人を育てる原動力にもなると考えますので、ぜひ高い志で学業と就職活動に取り組んでください。

ライフデザイン学部

経営コミュニケーション学科



学生の自律的就職活動

さるわたり まなぶ
猿渡 学
経営コミュニケーション学科 准教授

本学科学生の特徴は、情報サイトへの積極的なエントリーを「自律的」におこなっている点です。就職関連講座などの受講が意識の醸成に成功しているからでしょう。3年次のインターンシップも、本学提供のものだけではなく、就職活動サイトからの情報を積極的に収集して動いているというのが現状です。それが希望の職種（業界）に近く最良の方法です。「自ら動くこと」—就職活動の基本ですが、それに忠実であることが大切なのです。

キャリアサポートプログラム

本学では、低年次から学生一人ひとりが卒業後のキャリアについて考え、希望と自信を持って就職活動に臨むことができるよう、学年横断的なプログラムにより支援しております。下記に主な取り組みを紹介いたします

1年生	就職ガイダンス 入学時から、大学での学びの意義・職業意識の醸成を促します。	インターンシップ 主に夏季休業中を利用し、企業での就業体験を通して自己の職業適性など、職業選択について考える機会とします。	就職活動なんでも相談（全学年対象） 学外から専門のキャリアアドバイザーを招き、就職活動に関するあらゆる相談窓口を設置しています。
	適性検査① 自分自身の性格や興味を理解し、将来の目標設定などを自覚します。		
2年生	就職ガイダンス 自分の適性・能力に応じた進路を考えることを促します。	就職試験対策講座（2・3年生、大学院1年生対象） 夏季・春季休業中を利用して行っ民間就職試験（専門・常識・適性）、公務員試験対策の集中講座を開催します。	就職試験対策講座 夏季・春季休業中を利用して行っ民間就職試験（専門・常識・適性）、公務員試験対策の集中講座を開催します。
	適性検査② これまでの学生生活を振り返り、改善すべき点や進路目標を考えます。		
3年生・大学院1年生	就職ガイダンス 本格的な就職活動のスタートに当たり、具体的な就職活動の方法について指導します。	就職試験対策講座 夏季・春季休業中を利用して行っ民間就職試験（専門・常識・適性）、公務員試験対策の集中講座を開催します。	就職試験対策講座 夏季・春季休業中を利用して行っ民間就職試験（専門・常識・適性）、公務員試験対策の集中講座を開催します。
	適性検査③ ※大学院対象外 自己PRや企業研究のきっかけづくり役に役立てる検査を実施します。		
	就職活動支援講座 就職活動を進める心構え・マナーや業界・企業研究、自己分析、エントリーシート、面接などについて解説・説明します。		
	就職業界・企業研究会 企業から講師を招き、就職活動をはじめに当たった心構えやそれぞれの業界・企業が求める人材などについてお話しいただく研究会を実施します。		
4年生・大学院2年生	就職模擬面接 外部講師を招き、面接の実技指導を実施します。	就職試験対策講座 夏季・春季休業中を利用して行っ民間就職試験（専門・常識・適性）、公務員試験対策の集中講座を開催します。	就職試験対策講座 夏季・春季休業中を利用して行っ民間就職試験（専門・常識・適性）、公務員試験対策の集中講座を開催します。
	SPI・エントリーシート対策講座 多くの企業の採用試験で利用されているSPI試験対策講座と、書類選考で重要なエントリーシート対策講座を併せて実施します。		
	合同企業説明会 本学主催による合同企業説明会を実施します。		
4年生・大学院2年生	個別就職指導 キャリアサポート課、学科の就職委員および研修担当教員が連携し、個々に応じた就職相談・指導を実施します。	就職試験対策講座 夏季・春季休業中を利用して行っ民間就職試験（専門・常識・適性）、公務員試験対策の集中講座を開催します。	就職試験対策講座 夏季・春季休業中を利用して行っ民間就職試験（専門・常識・適性）、公務員試験対策の集中講座を開催します。
	合同企業説明会・個別面談 未内定者に対し、学内で合同企業説明会を開催します。また、就職活動促進のために個別面談を実施します。		

泰日工業大学との国際共催シンポジウムを開催しました

国際協定大学であるタイの泰日工業大学との国際共催シンポジウムを、11月16日（金）に開催しました。タイからは4名の教員が来日し、シンポジウム前日にはテクニカルツアーとして市内観光と宮城県産業技術総合センターの視察をしました。シンポジウム当日には、本学から4名（院生を含む）の研究者と泰日工業大学の研究者4名が「エレクトロニクスおよび情報通信技術の革新」をテーマに研究発表を行いました。シンポジウムでは、今後の学術交流および学生交流の推進について確認しました。次回は、2020年にタイで開催される予定です。



前日に宮城県産業技術総合センターを視察



電気電子工学科・丸山教授はガイドロボットの研究開発について講演



TNI から本学大学院情報通信工学専攻に留学中のナビットさんの発表



最後に関係者全員で記念撮影

留学体験

本学学生が台湾・中原大学に短期留学しました

台湾・桃園市にある中原大学と本学建築学科では、毎年卒業研修として約2カ月間の交換留学を行っています。今年度、本学からは10月3日（水）～12月1日（土）の日程で建築学科4年の岩沢怜里さん、湯村真梨奈さんの2名が派遣されました。中原大学の学生寮に入り、現地の学生と積極的に交流しながら、建築学科にて卒業設計のデザインについて学びつつ、現地ですでに友人達とともに台湾各地に足を運び、台湾における日本統治時代の現存する建築物や近代的な建築物などを視察し、日本ではあまり見かけないリノベーションや建築法に刺激を受けて帰国したようです。



台湾では日本統治時代の建物がそのまま残って利用されています



台湾では日本でも貴重な明治時代の家屋が多く現存しています



台北にある近代アートのようなビル屋上



台中にある日本統治時代の建物をリフォームしたショップ

留学体験

台湾・中原大学から交換留学生在が来日しました

本学の協定大学である台湾・中原大学から、11月7日（水）～12月25日（火）の約2カ月間、交換留学生2名、として張恆璋さん、葉俐媛さんが本学建築学科にやってきました。それぞれ違う研究室に配属され、台湾の大学との研修の違いに戸惑いながらも多くを学んでいきました。その他にも学外研修として平泉などの史跡めぐりや建築学科にて本学学生とともにスキー合宿に行くなど、充実した日々を過ごせたようです。本学学生2名もチューターとして留学生と過ごし、その時間は異文化にふれるチャンスであり、新たな友を得ることになったようです。



副学長室でチューターの学生も交えて記念撮影



張さんは日本語で、葉さんは英語で発表しました



修了式後の記念撮影

The Society for Redox Biology and Medicine's 25th Annual Conference (SfRBM 2018) に参加して



ただみか
多田 美香

共通教育センター 准教授

11月15日(木)～16日(金)、米国シカゴで開催されたSfRBM 2018で生体酸化還元 (Redox Biology) の医学応用や最先端の医用計測技術を学びました。SfRBMはSociety for Free Radical Research Internationalの下部組織で、発表は2名の査読(ダブルブラインド、10段階評価)で採否が決まり、学術雑誌Free Radical Biology & Medicineの特別号として出版されます。昨年に引き続き2回目の参加ですが、女性の活躍が目立ちます。私は9年前に米国NIHでタンパク質のフリーラジカル検出をご指導いただいた女性研究者にこの学会を勧められました。彼女は企業に転職し、電子スピン共鳴装置の販売・サポートで学会に参加しています。お互い転身しましたが、キャリアはそれぞれの職場で生かされています。SfRBMは若手の育成にも活発で、今年からUndergraduate research awardが加わり、日本からは本学と連携協定を結んだ芝浦工業大学の4年生が挑戦しました。今回の経験は将来の教育研究に繋げていきたいです。



SfRBM恒例のSunrise Free Radical School (朝食を食べながら勉強します)



National Institutes of Health(NIH)でお世話になったDr. Kalina Rangelovaとポスター・企業ブースで(左SfRBM 2018,右SfRBM 2017)

International Conference on Control, Automation and Robotics (ICCAR 2018) に参加して



ふじた とよみ
藤田 豊己

電気電子工学科 教授

4月21日(土)～23日(月)に開催された自動制御およびロボティクスに関する国際会議に参加しました。アジアを中心として近年に始まった大会ですが、4回目となる本年はニュージーランドのオークランド工科大学で開催され、そのためか、欧米からの参加者も増え、例年より国際色豊かな会議となりました。

今回の会議は約350人の参加者があり、100件近くの発表がありました。世界中から研究者が集まる大きな大会ではありませんが、それゆえ密接な議論を行うことができ、研究者間の交流も深めることができます。私はロボットの視覚機能に関する研究発表を行い、さまざまな意見をいただき、有益でした。また、最終日に実施された見学ツアーも貴重な経験となりました。



研究発表



郊外ワークワースにある電波天文台の見学ツアー

仙台赤十字病院・登米市・仙台89ERSと協定を締結しました。

東北工業大学では、12月から1月にかけて、仙台赤十字病院、登米市、仙台89ERSと、それぞれ協定を締結しました。

●仙台赤十字病院

本学は仙台赤十字病院と、双方包括的な連携・協力のもと、互いの事業に協力し、両者の発展、双方が有する人的資源や、地域貢献活動、機能などの活用(教育・研究活動など)を図り、地域における「医療・福祉の発展」「持続可能な社会の発展」に寄与することを目的に、12月7日(金)に「東北工業大学と仙台赤十字病院とのパートナーシップに関する協定」を締結しました。

相互の協働事業の一環として、12月7日(金)に、地域連携シンポジウム「これからの暮らしと地域社会」を開催し、12月22日(土)には、本学の吹奏楽部によるクリスマス演奏会が仙台赤十字病院にて実施されました。

仙台赤十字病院と本学は、2014年よりさまざまな事業やイベントの実施、さらには研究支援のための検証などで相互の連携を継続してきました。今後も、持続可能な地域発展のために、また研究・教育・社会貢献においても、連携協力を進めてまいります。



仙台赤十字病院・北純院長(左)と、本学・今野弘学長(右)
(協定締結式にて)

●登米市

登米市のまちづくりにおける相互の連携・協力に関して、登米市と本学双方が有する調査研究成果、人材等の資源を積極的に活用し、相互に連携・協力することにより、人材育成、地域の活性化を図ることを目的に、12月13日(木)に「登米市と東北工業大学との連携・協力に関する協定」を締結しました。

登米市と本学は、かねてより津山町の地場産業振興、登米市の歴史建造物調査保存の有効利用などについて連携を重ねてまいりました。協定締結式当日も、登米市内を拠点に行っている研究について事例紹介を行いました。

今後もより一層の地域社会の発展にむけて、相互協力を図り持続的な魅力あるまちづくりを進めてまいります。



登米市・熊谷盛廣市長(右)と、本学・今野弘学長(左)
(協定締結式にて)

●仙台89ERS

本学と仙台89ERSは、プロスポーツ事業を通して、学生の学習機会の創出、地域貢献・地域活性化に寄与すること、学生の将来的な職業選択に向けての経験の機会を創出することを目的に、1月15日(火)に「東北工業大学と仙台89ERSの連携・協力」に関する協定を締結しました。

また、当日は仙台89ERSの渡辺太郎社長(本学デザイン工学科OB)の案内のもと、ゼビオアリーナ内を巡る「アリーナツアー」を実施しました。普段なかなか見ることのできないアリーナのバックヤードや、アリーナ内の設備について説明いただきました。

今後、89ERSと連携した企画、教育活動を通して、地域活性化、また人材育成を進めてまいります。



仙台89ERS・渡辺太郎社長(左)と、本学・今野弘学長(右)
(協定締結式にて)

TohtechサロンVol.73を開催しました。

第73回 Tohtechサロン「デジタルエンジニアリング技術を活用した歴史的資源の再現～十八夜観世音堂 観音菩薩の制作～」を、1月16日(水)に一番町ロビー2階ホールにて開催しました。これは、2016年に宮城県指定有形文化財(彫刻)の指定を受けた十八夜観世音堂(太白区長町)の観音菩薩像について、宮城県産業技術総合センター、東北工業大学、有限会社ジーマデザイン事務所などで構成するプロジェクトチームのもと、木製品の3次元測定技術、3Dプリンターなどのデジタルエンジニアリング技術を活用し観音菩薩像の再現を行ったものです。2018年度には「KCみや

ぎ産学共同研究会事業」を宮城県より委託され、産学官による共同研究を進めております。

当日は再現作業にあたった、本学安全安心生活デザイン学科中島敏教授をはじめ、プロジェクトに携わった方がそれぞれの視点から研究経過について報告があり、また本学学生からも、今後の活用案について発表がありました。

文化財としてだけに留まらず、地域で親しまれるものになればと思います。



再現された観音菩薩を観覧している様子

八木山ウィーク2018 「つなぐ八木山展」を開催しました

今年で4年目を迎えた八木山ウィークは「つなぐ」をテーマに、①「人と地域をつなぐ地下鉄東西線」、②「地域の健康と医療をつなぐ病院」、③「種と生命をつなぐ動物園」、④「人・地域・安心をつなぐ仕組み」など、八木山地域で行われている「つなぐ」取組みをパネル等で紹介をし、地域の魅力を発信しました。本企画への参加団体は、仙台赤十字病院、八木山市民センター、仙台八木山防災連絡会、TBC東北放送、仙台八木山動物公園、八木山ペニーランド、仙台市です。また、期間中には本学が行っている「つなぐ」取組みの紹介として、工学部電気電子工学科 丸山研究室の「高齢者(足の不自由な人)の外出を手助けする賢い電動アシストカート」の実演を行いました。今回の八木山ウィークをきっかけに、さらに八木山に足を運んでくれる人が増えることを期待します。



八木山ウィーク2018展示風景

◆八木山ハーブまちづくり活動 「ハーブ講習会」

いとう みゆき
伊藤 美由紀 安全安心生活デザイン学科 准教授

本学科の地域安全安心センターは、2018年4月に八木山地区社会福祉協議会や八木山連合町内会、八木山地域包括支援センターなどと連携し、ハーブを活用した多世代、地域内外との交流の場づくりとしてハーブまちづくり実行委員会を結成しました。

12月1日(土)には、八木山キャンパスのtohtech FORUMを会場に、平間拓也氏(ざおうハーブ)をお招きし、ハーブ講習会を開催しました。参加者約40名はハーブティーを楽しみながら、個人宅や集会所などでのハーブの栽培を振り返り、ハーブの育て方や活用の仕方を質問したり感想を述べたりしました。これまでの講習会やハーブ栽培の活動から顔見知りも増え、共通する話題に各テーブルの会話もはずみ、会場は和やかな雰囲気になっていました。



ハーブティーや会話を楽しむ



平間氏の話に聞き入る参加者

◆実践! 就活ヘア・メイク講座

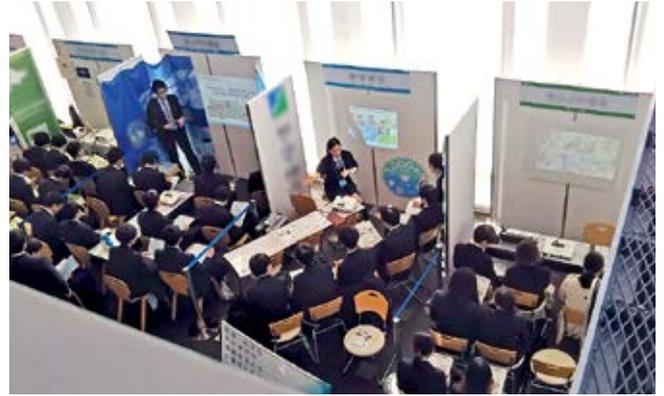
就職活動を控えた学部3年生を対象に、「就活ヘア・メイク講座」を11月15日(木)に開催しました。mod's hair仙台パルコ店などを仙台市内に展開する株式会社wonder wall取締役副社長の成田 奨さん他スタイリスト4名を講師に迎え、女子はメイクや髪型について実際に鏡をみながら、男子は整髪剤をつかい清潔感を意識した髪型やネクタイや眼鏡の色使いといった身だしなみについてレクチャーを受けました。ビジネスシーンで求められる印象を学生自らどう捉え、どこに反映するのが望ましいかを判断するためのポイントを細かくみていきました。自分らしさとは何か、内面や思考方法から探る通常の就職活動支援講座とは異なり、今回は外見からセルフイメージを作る方法を探りました。



モデル学生に続き一人ひとりが実践してみます

◆ライフデザイン学部「業界研究&インターンシップフェア」を開催しました

インターンシップや業界研究を目的に、「業界研究&インターンシップフェア」を11月27日(火)に長町キャンパス4号館にて開催しました。ハウスメーカー、商社、サービス業といったライフデザイン学部向けの業種19社から学生一人当たり6社を選択してまわりました。説明25分、休憩5分のタイムシフト制で行われ、企業から聞くだけでなく学生も質問をする活気ある時間となりました。ライフデザイン学部3年限定で今回が初となったこの企画は、就職活動解禁前に就活イベントの雰囲気に触れることで、学生自らの行動特性に気づき、また、企業の情報を知ることで企業選択の幅や方向性を広げるきっかけになったと思います。
※本イベントは本学を会場に株式会社マイナビに運営を委託しています。



4号館で行った業界研究



学生も積極的に活動していました

◆非常時の食事やトイレを 世代間交流で考える 「地域防災シンポジウムin八木山」

いとう みゆき
伊藤 美由紀 安全安心生活デザイン学科 准教授

仙台八木山防災連絡会主催の「地域防災シンポジウムin八木山」が、八木山市民センターで12月8日(土)に開催されました。このシンポジウムは2012年より12月初旬に定期的に行われ、小中高校から町内会、本学の学生や教員が参画し、災害時や日常に何が出来るかを意見交換しています。

今年度は、「災害時に自宅で過ごすこと」を皆で考えました。その際の食事として水につけおきし少量の水で茹でるパスタ作りや、水を使わずに衛生的に使うトイレのキットを作成しました。10グループにはそれぞれさまざまな世代が集まり、東日本大震災当時のことやパスタの試食の感想などを話しながら、地域防災や家庭での備えなどについて考える良い機会となりました。



かぶりものは非常時トイレキットの指導役のサイン



皆で協力してパスタ作り

クリエイティブデザイン学科 **ながさき 長崎 ともひろ 智宏** 准教授 **がご紹介**

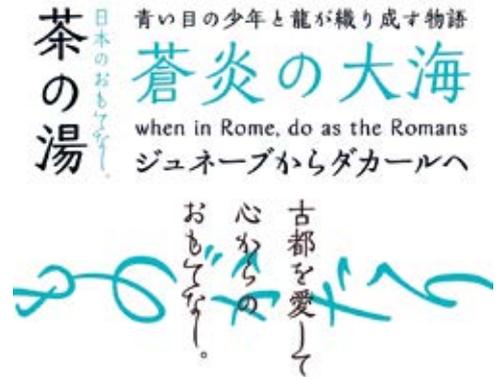
クリエイティブデザイン学科

あべ 阿部 ひろふみ 寛史 助教



「デザイン」のあり方を幅広く追求

阿部寛史助教は2018年に本学に着任されました。専門分野は、フォントや書体のデザインを行う「タイプデザイン」です。2008年に本学デザイン工学科を卒業後、グラフィックデザイナー、パッケージデザイナーを経て、2015年からタイプデザイナーとして活動を開始されました。印刷やディスプレイに欠かせないフォントの研究に取り組み、その成果を現代的なエレメントで表現した書体作品を発表されました。これらのデザインの実務経験を活かして、本学科では「デザイン論」や「デザイン計画および同実習」を担当されています。私たちの生活・社会にフィットするデザインのあり方を、学生たちと一緒に熱心に取り組まれています。専門であるタイプデザインとパッケージデザインを軸に、分野にとらわれない多様な表現方法とその技術を日々追求されています。



2017年に株式会社モリサワから発表した書体「みちくさ」

topics

情報通信工学科の学生による サイバーボランティア活動に宮城県警察から 感謝状の贈呈

情報通信工学科では、角田研究室の学生が中心となって宮城県警察大学生サイバーボランティアとして違法・有害情報の通報や広報啓発活動などを行なっています。この活動に対し宮城県警察より感謝状が贈呈されることになり、12月17日(月)に宮城県警察本部にて開催された「サイバーボランティア活動結果報告会」の中で、サイバーセキュリティ統括官より学生に感謝状が手渡されました。

また、同報告会では、本学学生によるサイバーボランティア活動を通しての感想発表や、宮城県警察で使用しているサイバー捜査機材の見学、警察本部庁舎の見学などが行われました。



感謝状はサイバーセキュリティ統括官より直接いただきました



普段見ることができない施設を見学



角田研究室の学生みんなで記念撮影

column

さるわたり いよこ **猿渡 英代子** ウェルネスセンター カウンセラー

「平常心」



こんにちは。カウンセラーの猿渡です。
近頃、「平成最後の〇〇」と耳にすると、何かかそれに便乗しないといけなのではないかと思ってしまう傾向があります。気にしないようにしても気にしてしまうことありませんか？

私たちの脳は、「何かを考えないようにする」ことが苦手です。シロクマの実験(ウエグナー:心理学者)をご存知の方もいるかもしれませんがね。実験に参加した人にシロクマの映像を見せ、3つのグループに分けて「シロクマのことを覚えておいてください」、「考えても考えなくてもいいです」、「シロクマのことだけは絶対に考えないでください」と伝えます。そして、一定期間をおいた後、一番シロクマの映像について覚えていたのは「絶対に考えないでください」と言ったグループでした。つまり、「自分がシロクマについて考えていないかどうか」をチェックする過程で、すでにシロクマのことを頭の片隅においている、ということになります。

普段の生活でも「こんなこと考えていても仕方ない」と思ってもつい繰り返し心配で考えてしまったりしますよね。そんなときには、自分に起こっている考えや気持ちを、ありのままに気づき受け止めていくことも大事です。

これからの主な行事予定(2019年)

- 3月**
- 4日(月)・5日(火) **本学合同企業説明会**
 - 8日(金) **卒業生発表**
 - 20日(水) **学位授与式**
 - 26日(火) **進級者発表**

- 4月**
- 3日(水) **入学式**
 - 4日(木)～9日(火) **前期オリエンテーション**
 - 10日(水)～8月1日(木) **前期授業**

本誌に関するご意見・ご感想をお待ちしております。

〒982-8577 宮城県仙台市太白区八木山香澄町35-1
東北工業大学 入試広報課
TEL : 022-305-3144 FAX : 022-228-1813
E-mail : kohositu@tohtech.ac.jp